

毛利悠子

1980 神奈川県生まれ

2004 多摩美術大学美術学部情報デザイン学科美術学士号取得

2006 東京芸術大学美術学部先端芸術表現科美術修士号取得

東京にて活動

個展

- 2026 「TBD」 The Curve, Barbican Center, ロンドン
「Entanglements」 Centro Botín、サンタンデール
「Falling Water Given」 Tanya Bonakdar Gallery、ニューヨーク
- 2025 「Entanglements」 Pirelli HangarBicocca、ミラノ
「LED」 Project Fulfill Art Space、台北
「Entanglements」 Centro Botín、サンタンデール
「Piano Solo: 12 January, 1900」 National Museum of Modern and Contemporary Art, Korea、ソウル
- 2024 「ジャム・セッション 石橋財団コレクション×毛利悠子ーピュシスについて」 アーティゾン美術館、東京
「Moré and Moré」 Aranya Art Center、河北省
「Compose: The 60th International Art Exhibition of La Biennale di Venezia」 日本館（ジャルディーニ地区内）、ヴェネチア
- 2023 「Sweet to Tongue and Sound to Eye,」 mother's tankstation, ロンドン
- 2022 「Neue Fruchtige Tanzmusik」 Yutaka Kikutake Gallery、東京
「モレモレ東京」 AKIO NAGASAWA Gallery、東京
「I/O」 Lydgalleriet、ベルゲン
- 2021 「I/O」 Atelier Nord、オスロ
「Parade(a Drip, a Drop, the End of the Tale)」 ジャパンハウス サンパウロ、サンパウロ
「SOLO」 Project Fulfill Art Space、台北
- 2020 「SP. by yuko mohri」 銀座ソニーパーク、東京
- 2019 「slower than slowly」 Mother's Tankstation、ダブリン
「Matsutake Gallery Presents Yuko Mohri」 Yvon Lambert Bookshop、パリ
- 2018 「毛利悠子：ただし抵抗はあるものとする」 十和田市現代美術館、青森
「Same As It Ever Was」 Project Fulfill Art Space、台北
「Voluta」 Camden Arts Centre、ロンドン
「泉／Fountain 1917-2017 Case5 散種」 京都国立近代美術館、京都
- 2017 「グレイ スカイズ」 藤沢市アールスペース、神奈川

- 「Moré Moré (Leaky)」 White Rainbow、ロンドン
- 2016 「Form of the Daze」 Jane Lombard Gallery、ニューヨーク
「Circus without Circus」 Project Fulfill Art Space、台北
「Pleated Image」 Waitingroom、東京
- 2015 「感覚の観測」 アサヒ・アートスクエア、東京
- 2013 「りぼん／Reborn」 武蔵野プレイス、東京
「ソバージュ：都市のなかの野生」 Art Center Ongoing、東京
「東海ポリリズム」 川口市メディアセブン、埼玉
「Show Case」 吉祥寺バウスシアター、東京（『第6回爆音映画祭』関連企画）
「おろち」 Waitingroom、東京
- 2012 「サーカス」 東京都現代美術館ブルームバーグ・パヴィリオン、東京
「サーキット」 Adanda、大阪
「サークルズ」 Waitingroom、東京
「Circles」 Agencia de Apoyo a la Arquitectura、バルセロナ
- 2010 「ホリデイ ビキニ」 アップリンク・ギャラリー、東京
「ワンデイ ダラス」 路地と人、東京
「エブリデイ ラオス」 20202、東京

グループ展

- 2026 「How We Meet」（荒川ナッシュ医との二人展）Kunstmuseum Bochum、ボーフム
「Sak-da: The Poetics of Decomposition」、MMCA、ソウル
- 2025 「セカイノコトワリー私たちの時代の美術」、京都国立近代美術館、京都
「The Roots Know More」、He Art Museum、仏山市
「Solitude」、ゲーテ・インスティトゥート東京、東京
「Mothering」、PHD Group、香港
「寿司死す」、龍ヶ崎、茨城
「Plastic Love」、Galerie Marguo、パリ
「もっとパッションを」 - Yutaka Kikutake Gallery 10 周年記念展、Yutaka Kikutake Gallery、東京
「L'invention du quotidien」、CAPC Musée d'art contemporain Bordeaux、ボルドー
「Of Anarchy in Music: More Journeys in Sound」、国立台湾美術館、
「帰ってきたやまびこ」（トレヴァー・ヤンとの二人展）、Yutaka Kikutake Gallery、東京
- 2024 「The Sky We Stand On」 Tanya Bonakdar Gallery、ロサンゼルス
「螺旋の可能性—無限のチャンスへ」 TODA BUILDING、東京
「Seeing Sound」 Pratt Manhattan Gallery、ニューヨーク
「The 25-Hour Days」 Keelung Museum of Art、基隆市

「日本現代美術私観：高橋龍太郎コレクション」東京都現代美術館、東京

「I Never Dream Otherwise than Awake Journeys in Sound」West Bund Museum、上海

「Vaghe Onde Sole」Omotesando Crossing Park、東京

2023 「14th Gwangju Biennale: Soft and Weak Like Water」、光州

「Friends in the Arts」Tank Shanghai、上海

「高井戸芸術祭 Yes in My Backyard」高井戸駅周辺、東京

「Seeing Sound」Cantor Fitzgerald Gallery、Haverford College、Haverford, PA

「Body, Love, Gender」Gana Art Center、ソウル

「コレクション展2：電気一音」金沢21世紀美術館、石川

「Tendering」Property Holdings Development Group、香港

「坂本龍一トリビュート展 音楽/アート/メディア」NTT インターコミュニケーション・センター (ICC)、東京

「November」東麻布、東京

「In the Garden of David Horyitz」911, 7th Ave、ロサンゼルス

「A River That Flows Both Ways: Selected Works from rivus, the 23rd Biennale of Sydney」

Adelaide Contemporary Experimental、オーストラリア

「Law-technology? High-quality!」AL、東京

赤瀬川原平写真展「日常に散らばった芸術の微粒子」SCAI PIRAMIDE、東京

2022 「Japan. Body_Perform_Live」Padiglione d'Arte Contemporanea、ミラノ

「Extended Present」Ludwig Museum、ブダペスト

「第23回シドニー・ビエンナーレ」

シドニー現代美術館／Pier 2/3 at Walsh Bay Arts Precinct シドニー

「Sense Island 感覚の島」猿島、神奈川

「Rendering」PHD Group、香港

「On Paper」Project Fulfill Art Space、台北

2021 「See Sea」桃園市立児童美術館、桃園

「新しい成長の提起」東京藝術大学大学美術館、東京

「都市を巡る声」アートウィーク東京 巡回バス、東京

「2021 アジア・アート・ビエンナーレ」国立台湾美術館、台中

「A Higher Calling」White Space、北京

「Mutable Ecologies」RMIT、オンライン

「第34回サンパウロ・ビエンナーレ」Ciccillo Matarazzo Pavilion、サンパウロ

「Tokyo: Art & Photography」アシュモレアン博物館、オックスフォード

「Breaking the Waves」chi K11 art museum、上海 [K11 HACC (香港) に巡回]

「Holland Festival 2021」De School、アムステルダム

「グラスゴー・インターナショナル 2021」 The Pipe Factory、グラスゴー

「Trust & Confusion」 Tai Kwun Contemporary、香港

「距離をめぐる 11 の物語」 国際交流基金、オンライン

「Playfreely: Nervous Systems」 Goodman Arts Centre、シンガポール

「Theatre for All」 プリコグ、オンライン

2020 「From the Mundane World」 He Art Museum、広東省順徳区

「Dawn Light」 Project Fulfill Art Space、台北

「Inside the Collector's Vault, vol.1」 WHAT、東京

「Vento [Wind]」 Ciccillo Matarazzo Pavilion、サンパウロ

「オペレーション」 東京藝術大学大学美術館陳列館、東京

「ダーク・アンデパンダン」 会場未公開

「グラスゴー・インターナショナル 2020 : Gi デジタル・プログラム」 Glasgow international、オンライン

「現在地：未来の地図を描くために（第2期後期）」 金沢 21 世紀美術館、石川

「Condo London 2020」 Mother's Tankstation、ロンドン

2019 「Inter-Resonance: Inter-Organics」 シャルジャ・アート・ファンデーション、シャルジャ

「アートセンターをひらく（第2期）」 水戸芸術館、茨城

「第5回ウラル・インダストリアル・ビエンナーレ」

Ural Optical and Mechanical Plant、エカテリンブルク

「U40」 游庵、東京

「summer rains」 SCAI THE BATHHOUSE、東京

「MOT コレクション 第2期 ただいま／はじめまして」 東京都現代美術館、東京

「百年の編み手たち」 東京都現代美術館、東京

「眼にみえる魂」 福武ハウス、香川

2018 「第9回アジア・パシフィック・トリエンナーレ」 クイーンズランド州立近代美術館、ブリスベン

「Sensory Agents」 Govett-Brewster Art Gallery、ニュープリマス

「Childhood」 パレ・ド・トーキョー、パリ

「New Japan」 Solyanka VPA、モスクワ

「Rehearsal」 Tai Kwun Contemporary、香港

「Going Away Closer」 ウィフレド・ラム現代美術センター、ハヴァナ [スパイラル（東京）に巡回]

2017 「Japanorama: A New Vision on Art Since 1970」 ボンピドウ・センター・メッス、メッス

「第14回リヨン・ビエンナーレ」 リヨン現代美術館、リヨン

「札幌国際芸術祭 2017」 札幌市立大学スカイウェイ、北海道

「日本の現代アートがここにある！ 高橋コレクション・マインドフルネス 2017」 山形美術館、山形

「MOT サテライト 2017 春 往来往来」 F 邸 清澄白河、東京

- 2016 「コチ=ムジリス・ビエンナーレ 2016」 Aspinwall, Fort Kochi、コチ
「Digital Design Weekend 2016」 ヴィクトリア・アンド・アルバート・ミュージアム、ロンドン
「六本木クロッシング 2016」 森美術館、東京
「Regeneration Movement」 国立台湾美術館、台中
- 「Don't Panic It's Organic」 Galerie Zimmermann Kratochwill、グラーツ
「The Beginnings (or Open-ended) 2」 ポトラック・ビルディング・ギャラリー、愛知
「The Way Things Go」 台北市立美術館、台北
- 2015 「日産アートアワード 2015」 BankART Studio NYK、神奈川
「2015 Jaguar Asia Tech Art Prize」 Taipei World Trade Center、台北
「The Beginnings (or Open-ended) 1」 ポトラック・ビルディング・ギャラリー、愛知
「スペクトラム」 スパイラルガーデン、東京
「Mirror Mirror」 Kate Werble Gallery、ニューヨーク
- 2014 「Unseen Existence」 香港アートセンター、香港
「Some Like It Witty」 Gallery Exit、香港
「Red Bull Music Academy Tokyo 2014」 レッドブル本社、東京
「DOMMUNE University of the Arts」 3331 アーツ千代田、東京
「ヨコハマトリエンナーレ 2014」 横浜美術館、神奈川
「Media/Art Kitchen Aomori」 青森公立大学国際芸術センター青森、青森
「札幌国際芸術祭 2014」 清華亭／チ・カ・ホ、北海道
「Causality」 1335Mabini、マニラ
「Transmediale 14」 Haus der Kulturen der Welt、ベルリン
「もうひとつの都市ソラリス」 東京藝術大学芸術情報センター、東京
- 2013 「Media/Art Kitchen」 インドネシア国立美術館、ジャカルタ
「見過ごしてきたもの」 せんだいメディアアテーク、宮城
- 2012 「アノニマス・ライフ」 NTT インターコミュニケーション・センター、東京
「アートと音楽」 東京都現代美術館、東京
「X_Sound」 Nam June Paik Art Center、ヨンイン
- 2011 「Omnilogue: Alternating Currents」 パース現代美術館、パース
「吾妻橋ダンスクロッシング」 アサヒ・アートスクエア、東京
「ジョン・ケージ Variations VII」 アサヒ・アートスクエア、東京
- 2010 「大友良英 | アンサンブルズ 2010：共振」 水戸芸術館、茨城
「オカルトテクニクス」 アキバタマビ 21、東京
- 2009 「ENSEMBLES 09 休符だらけの音楽装置」 3331 Arts Chiyoda、東京
「Coded Cultures」 Museums Quartier Wien、ウィーン

- 「複々製に進路をとれ」川崎市市民ミュージアム、神奈川
- 「Radiator Festival 2009」Broadway Media Centre、ノッティンガム
- 2008 「第5回ソウル国際メディアアート・ビエンナーレ（メディアシティ・ソウル）」ソウル市立美術館、ソウル
- 「拡張された感覚」Alternative Space Loop、ソウル
- 「NTT インターコミュニケーション・センター（東京）に巡回」
- 「AV Festival 08」Discovery Museum Newcastle、ニューカッスル
- 2007 「実験ショウ」近畿大学国際人文科学研究所、東京
- 2006 「コネクティング・ワールド」NTT インターコミュニケーション・センター、東京
- 「Ars Electronica」OK Center for Contemporary Art、リンツ
- 「電キンビション」日本橋電気街周辺店舗、大阪
- 「Dislocate」小岩プロジェクトスペース、東京
- 「Transmediale 06」アカデミー・オブ・アーツ、ベルリン
- 2005 「デジタル・インターコネクションⅤ：メディア・アート@フロント！」
- 町田市立国際版画美術館ハイビジョン・ホール、東京
- 「サン・アンド・エスケイプ」大阪赤レンガ倉庫、大阪
- 「時間旅行展」山口情報センター（YCAM）、山口
- 2004 「Ex-: Media Art Lab Selection」多摩美術大学メディアセンターホール、東京
- 「インフォメーション・アートの想像力」東京都写真美術館、東京
- 2003 「メディアセレクト」名古屋港北ホール 20 号倉庫、愛知
- 「コミュニケーションの現在・2003」NTT インターコミュニケーション・センター、東京

受賞歴

- 2025 野村財団 助成金
- 吉野石膏美術振興財団 美術に関する国際交流の助成
- 2024 香港『ArtAsiaPacific』誌 Artist of the Year 2024 選出
- Pen クリエイター・アワード 2024
- 野村財団 助成金
- 公益財団法人 小笠原敏晶記念財団 渡航・旅費等の助成
- 2023 朝日新聞文化財団 芸術活動助成金
- 吉野石膏美術振興財団 美術に関する国際交流の助成
- 野村財団 助成金
- 2022 公益財団法人ポーラ美術振興財団 美術に関する国際交流助成

吉野石膏美術振興財団 美術に関する国際交流の助成

野村財団 助成金

2020 アーツカウンシル東京 2020 年度助成金

朝日新聞文化財団 芸術活動助成金

2019 アンスティチュ・フランセ シテ・アンテルナショナル・デ・ザール ローリエット
英『It's Nice That』 「Ones to Watch 2019」 選出

2018 文化庁文化交流使 東アジア文化交流使

2017 ブルガリ アウローラ アワード 2017 (推薦 = 坂本龍一)
第 67 回芸術選奨 文部科学大臣新人賞

2016 第 65 回神奈川文化賞 未来賞
英『Apollo』誌 40 Under 40 Asia Pacific 選出

2015 日産アートアワード 2015 グランプリ
2015 ジャガー・アジア・テック・アート・プライズ オノラリー・メンション

2014 アート・フェア東京 2014 ベーコン・プライズ

2006 プリックス アルス・エレクトロニカ オノラリー・メンション
トランス・メディアール・アワード 銀賞

パブリック・コレクション

大林財団 (東京)

金沢 21 世紀美術館 (石川)

京都国立近代美術館 (京都)

クイーンズランド州立近代美術館 (ブリスベン)

高橋コレクション (東京)

桃園市立美術館 (桃園)

東海東京証券 (東京)

東京都現代美術館 (東京)

十和田市現代美術館 (青森)

日産自動車 (神奈川)

ポンピドゥー・センター (パリ)

リヨン現代美術館 (リヨン)

M+ (香港)

S-House Museum (岡山)

Y K G

Yutaka Kikutake Gallery

6-6-9 2F Roppongi, Minato-ku, Tokyo 106-0032, Japan
Tel: +81 (0)3 6447 0500 Mail: info@ykggallery.com
www.ykggallery.com

出版

2019 『毛利悠子 ただし抵抗はあるものとする』（月曜社、編：十和田市現代美術館）